

留 学 報 告 書

記入日:2020年07月27日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科国際関係法コース
留学先国	中国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 北京大学 現地言語: 北京大学
留学期間	2019年8月～2020年6月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年2月1日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9 月上旬～1 月中旬 2 学期:2 月中旬～6 月末 3 学期: 4 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	3 万人弱
創立年	1898

留学費用項目	現地通貨 (元)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	約16500	約253440円	コロナ発生後の宿舍費は発生せず
食費	約4500	約70000円	大学敷地内にある6か所の食堂で食事
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	250	約3800円	
現地交通費	0	0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	20	約300円	中国落語サークルの参加費
被服費	600	約10000円	極寒対策のダウンコート
医療費	0	0円	全て保険適応
保険費	400円	約6000+7000円	形態:明治大学及び北京大学の費用
渡航旅費	0	0円	マイレージ使用のためかからず
ビザ申請費	300円	5000円+8000円	ビザ申請時の健診費用+諸費用
雑費	0	0円	0
その他		円	
その他		円	
合計	25000万円	約40万円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地: 成田空港 目的地: 北京首都空港 経由地:	
復路 出発地: 上海浦東空港 目的地: 成田空港 経由地:	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: マイルを利用した航空券購入(格安航空の場合 3 万弱)	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: JAL 料金: マイル利用 復路 航空会社: 春秋航空 料金: 15000 円 ∴合計: 15000円	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: 往路: JAL 公式 HP、復路: 去哪儿旅游(中国旅行用アプリ)) <input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例: アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: 中関新園) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
北京大学留学センターの斡旋	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
自身が滞在中関新園 6 号楼に居住する留学生は選抜が行われる。家賃補助が大学から支給される代わりに、日中交流活動を寮生とともに行う必要がある。留学生寮では珍しく、本大学の本科生(中国人)と同部屋になるため、より深く現地の学生と交流する機会を得ることが出来る。 寮敷地内には、留学生専用のカフェ、図書館、食堂、ジムを含めた体育総合施設などがある。9 時から 23 時まで営業しているコンビニもあるので非常に便利。 また、大学から徒歩 5 分、駅まで徒歩 3 分と、ロケーションも非常に良い。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: 北京 优合万柳门诊部)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: 現地の友人や中国に住んでいる親戚)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
観光地に行く際は事前に情報収集をする。慣れない土地(特に北京や上海などの国際都市ではない場所)での移動は、出来るだけ 2 人以上で行動する。 中国の SNSweibo を利用し、北京大学や政府の情報機関の公式アカウントから正しい情報を得る。また、北京大学日本人留学生会や北京駐在員のコミュニティーが発信する情報を随時確認する。 田舎の観光地にてタクシーを拾った際に危ない目にあつた。現地の周囲の人に事情を話して助けてもらったり、信頼している友達に連絡して現在危険な状態であることを伝え、万が一連絡が途絶えた場合に備えて対策をとった。留学生が女性の場合は、現地の家族連れの人、もしくは女性(同年代の人を頼れば英語も通じる場合がある)を頼ることをお勧めする。	

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

入寮時に格安 SIM のブースに案内され、1年間もしくは2年間契約をすることが可能。1か月40G相当使用できるため、お値段は破格である。後日携帯ショップで購入する際は通常料金のみでの契約となるので、少々高くなる。中国において電話番号は、様々な契約の際に必要なため、ポケットWiFiを利用するよりSIM購入のほうが断然良い。大学に毎月インターネット代(月150円)を支払うことで、寮だけではなく大学敷地内であればいつでも快適なネット環境を得ることが出来る。

尚、GoogleやLINEなどの日本で頻繁に使われるアプリは、中国で利用することが出来ない。明治大学のVPNを利用するか、VPN契約をするかで対処する必要がある。但し、国慶節などの国家的な重要行事が行われる期間はVPN接続が全くできないこともあるため、家族や友人、もしくは明治大学担当者にVPNなしでもとれる連絡先を事前に伝えておくとい(WeChat, Outlookなど)。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか？

親や親せきからもらった現地の現金(人民元)を使用していた。足りなくなった分はクレジットカードを使用していた(留学奨学金が振り込まれる口座と連結させた)。

現地では現金での支払いも可能だが、ほとんどがスマホ決済で行われていたため、中国銀行口座とスマホの連結が必須であった。健康診断書やビザの発行が完了すると、当大学留学センターから銀行口座開設に必要な書類を発行してもらうことが出来る。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

コンタクトレンズ、常備薬などの医療用品は日本から持参することをお勧めする。現地の日本人向けの病院で処方してもらうことも可能だが、必ずしもあるとは限らない。薬の指定がなければ、現地の薬でも効き目はあるので対処は出来る。

コンタクトレンズの場合、コンタクト洗浄液は保険適用されるため、現地での調達でも十分であろう。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)	
1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
33 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 49単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 一部制限は設けられたが、すべての学部の履修科目に登録することが出来た。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
专业汉语(一)	専門漢語(1)
科目設置学部・研究科	国際関係学部
履修期間	秋学期
単位数	1
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	前半先生が講義を行い、後半はグループごとにディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	赫佳妮
授業内容	中国社会問題についての記事を精読、または、政治指導者のスピーチなどを読む。講義やディスカッションにて背景について深く理解する。
試験・課題など	グループプレゼンテーションやグループフィールドワークが課された。小論文を2つ提出し、期末論文及び期末テストで総合的な
感想を自由記入	<p>北京大学へ正規留学した学生が受講することを前提として開講されている授業である。その為、授業で使用される中国語は比較的難易度が高く、最初から発言やディスカッションへの主体的な参加を求められる。</p> <p>一方で、中国の中心となる理念や政策などを一から知ることのできる授業でもあり、他の学部での学習で少ししか説明されない用語について体系的に理解することのできる良い授業である。また、中国語が堪能な海外留学生と仲良くなれるいいチャンスにもなった。</p>
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
宪法学	憲法学
科目設置学部・研究科	法学部
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が1回
担当教授	张千帆
授業内容	中国の憲法学についての授業。学部一年生が受講するため、憲法の歴史や体系的な学習をする。後半からは中国での憲法についての判例をいくつか取り上げる。
試験・課題など	中間テスト及び期末テストで評価する。
感想を自由記入	<p>学部一年生用の内容のため、中間テストまでの学習範囲は日本で学習するものと相違ない。しかし、期末テストまでの学習範囲は、中国での憲法判例が出てくるため、事前学習が必須となる。</p> <p>教授は中国憲法について少々批判的で、教科書も中国政府から出版禁止命令を出されたほどである。中国人の目線と述べられる中国批判を聞くことが出来るため、興味深い授業であった。</p>

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
外交学		外交学	
科目設置学部・研究科	国際関係学部		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	贾庆国		
授業内容	中国の外交の歩みと、外交の歴史(主に西洋)や外交の形式について学習した。		
試験・課題など	中間及び期末テスト		
感想を自由記入	パワーポイント以上に先生の話す内容が盛りだくさんの授業である。 米中貿易摩擦をはじめ、中国の今の外交について学術的視点で学べる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中国概況		中国概況	
科目設置学部・研究科	対外漢語学部		
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	金舒年		
授業内容	外国人留学生を対象として授業で、授業内容は中国の社会問題、法律、地理、歴史、民俗、歌謡、政治体制など包括的に学習することが出来る。		
試験・課題など	中間及び期末論文。20分のプレゼンテーション。現地学生へのアンケート調査など。		
感想を自由記入	留学生に対して理解のある教授である。外国人でもわかりやすいように中国についての様々な基本的な情報について細かく教えてくれる。また、使用している単語も比較的優しいため、内容理解に問題はなかった。 先生の出す課題を通して、現地中国人学生と意見の交換をすることが出来てよい経験も得ることが出来た。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
日本及日本人論		日本及び日本人論	
科目設置学部・研究科	歴史学部		
履修期間	秋学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	王新生		
授業内容	日本国内の社会問題から日本史、日本伝統芸能、教育事情や日本歌謡曲まで幅広く扱う。		
試験・課題など	中間及び期末論文、グループプレゼンテーション		
感想を自由記入	日本人の価値観や考え方の裏付けとなる日本の文化や社会について、日本人でも知らない深い内容まで扱っていたので、とても興味深かった。月に二回ほど日本からゲストレクチャーが来て、在學生と議論を交わすため、中国人の日本への見方を理解する事も出来た。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
刑法分論		刑法各論	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	秋学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授	车浩		
授業内容	中国刑法について。条項の詳しい説明と、それについての判例や論点を取り上げる。		
試験・課題など	中間テスト及び期末テスト		
感想を自由記入	留学期間で履修した授業の中で一番苦労した科目。他の法律に比べて、中国独自の条項もあったため、新たな法律規定を学ぶこととなる。 期末テストでは、試験時間が4時間以上かかり、途中2回ほど先生からお菓子の支給があった。問題冊子が7ページ以上で、とある人物の半生を描いた壮大なストーリーから、主人公及び登場人物の犯した一つ一つの刑事責任について記述しなければならなかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
汉语修辞学		漢語修辞学	
科目設置学部・研究科	メディア学部		
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	オンライン録画講義及びグループディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	陈汝东		
授業内容	中国語の修辞法について、新聞記事や文献を引用しつつ学習する。		
試験・課題など	中間及び期末レポート。論文の読書感想文。グループディスカッション。オンライン小テスト及び中間期末テスト。		
感想を自由記入	オンライン授業の中では、一番課題の多かった授業である。グループディスカッションは中国版LINE(we chat)で行われたが、日本からの接続だと通知が来ないこともまれにあり、大変だった。 授業ごとの小テストは数回再受験することが出来、自分の知識の定着を確認することが出来た。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国际关系与东亚安全		国際関係と東南アジア安全保障	
科目設置学部・研究科	国際関係学部		
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(リアルタイム)(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	于铁军		
授業内容	東アジア及び東南アジアでの安全保障について学習する。問題を細かく紐解くために、安全保障期間だけではなく、各国の領土問題や社会問題について包括的に学んだ。		
試験・課題など	中間及び期末レポート。論文の読書感想文。		
感想を自由記入	アジア諸国の立場に立って、安全保障を様々な角度から紐解いた。担当教授も非常に有名であるが、受講生の大半が院生であったため、内容も高度であった。日本について扱う授業もあり、その際に日本人の考えはどうかと意見を求められた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
汉译日		中日訳	
科目設置学部・研究科	外国語学部		
履修期間	春学期		
単位数	2		
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	チュートリアル形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授	馬場公彦		
授業内容	中国語の書かれたテキストを使用し、日本語訳の練習をする授業。中国問題についてメインに書かれた教科書だったため、ディスカッションの時間では、毎テーマごとの日中対比をした。		
試験・課題など	テキストの訳文作成。期末テスト。		
感想を自由記入	受講者20人のうち、日本人が私を含めて3人参加していた。両国の意見交換を出来る良い機会となった。また、中国人受講者は日本語学科在籍の人が多く、日本についてどういう印象を持っているかについて聞くことが出来た。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
債権法		債権法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	春学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授	刘凯湘		
授業内容	中国債権法(主に契約法)について扱う。オンライン録画を視聴後に、毎週木金にディスカッション及び質疑応答の時間が設けられた。		
試験・課題など	中間及び期末レポート(判例分析)		
感想を自由記入	上記記載の刑法と同様、中国独自の法律もあったため、難易度は高めであった。また、春学期はオンラインで文献を手に入れることが困難だったため、先生の録画講義と質疑応答の時間で主に学習していた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
国际组织与国际法		国際組織と国際法	
科目設置学部・研究科	国際関係学部		
履修期間	春学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授	张海滨		
授業内容	国際組織について毎授業一つ取り上げて学習する。各組織における中国の役割の変遷や、国際問題への中国の姿勢について理解することが出来る。		
試験・課題など	中間及び期末レポート		
感想を自由記入	北京大学国際関係学部には国際組織で働きたいという学生のためのプログラムがある。そのプログラム生が多く参加している授業でもあったため、各国際組織の抱えている問題や今後の進展について詳しく学ぶことが出来た。更に、国際機関に勤務している当学部のOBOGがゲストレクチャーをしてくれるため、最先端で行われていることを知れた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
中国神话研究		中国神話研究
科目設置学部・研究科	歴史学部	
履修期間	春学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義形式(リアルタイム)(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に100分が1回	
担当教授	陈连山	
授業内容	中国神話について古文書「山海経」を使用して学習する。	
試験・課題など	期末レポート	
感想を自由記入	古文書である「山海経」を読み解きながら、中国神話世界を探求するため、創造力が掻き立てられる。しかし、漢文で記述される文献を使用するため、先生の解説だけではなく、事前に日本語訳で理解をする必要性もあった。 何よりも中国神話を学習することで、現代に根づく思想や年中行事、中国の建築物など中国文化の根幹を学習することが出来た。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
道教史		道教史
科目設置学部・研究科	哲学部	
履修期間	春学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン授業(動画視聴)(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	32時間	
担当教授	程乐松	
授業内容	道教の歴史と体系的な道教の概念について。	
試験・課題など	期末テストが課された。試験開始時間にオンライン会議にて問題が提示されて、時間内に回答する。	
感想を自由記入	中国大陸での大学では基本簡体字で授業を進行するが、唐授業の先生は全て繁体字を使用していた。見たことのない漢字や哲学的な微妙な言葉の差異を理解するのが非常に難しく、難易度が非常に高いと感じた。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
中国流行音乐流变		中国流行歌の変遷
科目設置学部・研究科	教養科目群	
履修期間	春学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン授業(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	32時間	
担当教授	周映辰	
授業内容	主に中華人民共和国で流行ったロックやポップスなどを幅広く学習した。プレゼン資料には動画なども添付されており、実際の音楽に触れることが出来た。	
試験・課題など	2回の小論文と期末のエッセイが課された。4000字程度のエッセイだったが、中国の曲にまつわることであればテーマは自由であった。	
感想を自由記入	中国ならではの授業で、日本では履修できない貴重な授業。先生も録画での授業であったが、引き付けられるような内容であったので、実際の対面授業を受けることが出来ずに残念だった。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	4月: 明治大学入学。留学説明会に参加する。 5月: 6月: HSK4 級受験
8月～9月	8月: HSK5 級受験。上海の語学学校へ短期留学。 9月: HSK6 級合格のために勉強。
10月～12月	10月: HSK6 級受験。 11月: 奨学金申請準備と全学協定留学への応募。この頃 HSK6 級合格発表があり、北京大学を第一希望にする。 12月: 協定留学の面接選考。トビタテ 1 次通過。
2019年 1月～3月	1月: 協定留学先が北京大学に決定。トビタテ 2 次選考。 2月: トビタテ最終選考合格。
4月～7月	6月、7月: トビタテプログラム計画変更。 4月から留学まで、現地の授業についていけるように中国法の予習や語学練習。
8月～9月	8月: 留学出発。 9月: オリエンテーション参加。現地日本人とのコネクション作り。授業本格的開始。
10月～12月	10月: 国慶節を楽しむ。内モンゴル旅行。 11月: 北京東京フォーラムにボランティアスタッフとして参加。中間テスト対策。 12月: 期末テスト対策。
2020年 1月～3月	1月: 日本国北京大使館で成人式に参加。中国縦断旅行の最中、コロナの影響で上海の親戚の家で滞在。 2月: 日本に一時帰国。新学期開始。 3月: オンライン授業を日本で受ける。
4月～7月	4月: 中間テスト対策。 5月: 中間テスト。 6月: 期末テスト対策及び期末テスト。すべてのプログラムが終了。 7月: 退寮手続きや荷物の整理などで留学センターの人と相談。
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

北京大学を留学先として選んだ理由は以下の3点です。

- ①自分のルーツを知るため
- ②日中関係の最前線を知る
- ③中国最高峰の大学で中国法を学ぶ

私が小学生の頃、日中関係が悪く、日中ハーフであった私は差別を受けたことにより、自分のもう一つのルーツである中国から目を背けた。高校生になり、アジア人と関わる討論会に数回参加した経験から、アジアおよび中国への関心が芽生え、自分のルーツである中国について向き合う必要性を感じた。そこで学生生活最後である大学生では、中国へ留学したいと考えた。

加えて、日中政治関係の悪さにより、日中両国民の間にも軋轢を感じていることに疑問を覚え、日中関係の「今」をこの目で知るために政治首都である北京に留学したいと思った。

そして、世界大学ランキング上位校で、且、中国最高峰の大学である北京大学で大学生活を送り、そこで自分の専攻である法律を学びたいと強く思った。

語学留学をする人が増えている中、是非皆さんには語学以外の目的を持った留学を考えてほしい。語学以外の目的を持つだけで、自分の課外活動の幅や交流する人々の幅が広がる。

留学は学問を究めるだけのものとして捉えるのではなく、自身の人生観や価値観を変えてくれるような人生の転換点にしてほしいと強く思う。

留学を夢見る自分を信じて、挑戦することを恐れずに頑張ってください。応援しています！